別紙1

補助金・交付金 チェックシート（No.１）

補助金名（交付金名）	湯の川温泉花火大会開催補助金	開始年度	昭和４８年度

団体名	湯の川温泉花火大会実行委員会

助成の根拠規定等（条例・規則・要綱等）	函館市補助金等交付規則

○補助事業の内容および目的・効果

内容	湯の川温泉街にて花火大会を実施。
目的・効果	（目　的） 「湯の川温泉」のＰＲと観光客誘致のため。
	（効　果） 本市の夏の終わりを飾るイベントとして定着しており，観光客誘致に貢献している。

○補助事業の収支状況

（単位：千円）

	年度	助成金 市	助成金 その他	協賛金	後援金	雑収入	繰越金	計
収入	26	1,500		6,376	1,500			9,376
	27	500		7,069	514	0	1	8,084
	28	1,500		6,960	1,500	0	1	9,961
	29	1,500		7,084	1,740	7	2	10,333
	30	1,500		7,074	1,500			10,074

	年度	事務費	事業費	雑費	予備費			計
支出	26	49	9,146	181				9,376
	27	189	7,680	215				8,084
	28	136	9,675	149				9,960
	29	103	9,997	208				10,308
	30	99	9,809	166				10,074

別紙2

補助金・交付金チェックシート（No.２）

補助金名（交付金名）	湯の川温泉花火大会開催補助金

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性（明確な公益性があるか） ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☑ ☑ ☑	□ □ □	昭和４１年から（助成は昭和４８年から）開催されており，本市の夏の終わりを飾るイベントとして市民に定着している。 ※　平成２４年にイベント名の変更あり 「湯の川温泉いさり火まつり」⇒ 「湯の川温泉花火大会」
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☑	□	湯の川温泉エリアのＰＲと観光客誘致に大きく貢献しているイベントであり，夏季の誘客のために補助は必要不可欠である。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☑	□	事業費の約７割を協賛金収入でカバーしており，事業費の増額にも自助努力で対応している。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが，施策目的実現に最適か）	☑	□	市民主体の実行委員会が運営していることから，補助金として支出することが妥当である。

※適・不適であっても，説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は，前年踏襲となっていないか	□	
2	補助金等の使途は適切である	□	
3	積算基準は定められている	☑	当該補助金は，当該事業の大きな効果を鑑み，事業の継続を支援するために，政策的な意図をもって支出していることから，積算基準は定めていない。
4	補助割合は，補助対象経費の１／２以内である	□	
5	前年度繰越金は生じていないか	□	
6	自主財源の確保に努めている（最低でも前年度の収入を確保しているか）	☑	自主財源の多くを占める協賛金や広告収入は，その性質上，年により上下があり，安定的な収入とは言い難いが，そういった中でも同規模の確保がなされている。
7	経常経費の節減に努めているか	□	

※不適の場合は，説明欄に必ず記載してください。

別紙3

補助金・交付金 チェックシート（No.３）

補助金名（交付金名）	湯の川温泉花火大会開催補助金

○補助効果の検証

（効果測定方法，具体的な数値等）
実行委員会において観客数等をカウントしている。

（達成状況）
過去３年度における観客数等は次のとおり
・平成３０年度：関係者　約４００人，観客　約５１，０００人
・平成２９年度：関係者　約４００人，観客　約４５，０００人
・平成２８年度：関係者　約４００人，観客　約４０，０００人

※継続事業は，直近の実績　新規事業は，効果のみ記載してください。

（評　価）		（理　由）
十分効果をあげている	□	宿泊施設数が減少傾向にある湯の川温泉エリアにおいて，本花火大会を開催することにより，賑わいを創出し温泉街活性化の一助となっている。
一定の効果をあげている	☑	
効果が疑問である	□	
その他	□	

○今後の方向性

□	現行のまま補助を継続
☑	見直したうえで補助を継続
□	廃止
□	その他

（見直しの内容）
今後，補助事業の対象経費を精査するなどし，必要に応じて補助金額を検討する。

（見直しの時期）
令和３年度

（廃止の理由）

（廃止の時期）

（その他の内容）

○終期の設定

終期設定				次回チェック年度（予定）
令和３年度	→	□	終期到来により廃止	→	次回チェック年度（予定）
		☑	終期到来時に再検討		令和３年度